

健康長寿を願って 町内各地区で敬老会

9月16日の敬老の日の前後、町内5地区において、健康と長寿を祝う敬老会が開催されました。

式典では、100歳以上の方や、米寿（数え88歳）の方に、それぞれ宮脇町長から表彰状や記念品の贈呈が行われました。

また、祝宴の部では舞踊やカラオケ、保育所園児や小中学生によるステージなど、各地区で趣向を凝らした出し物が行われました。



生名地区 9月7日(土)

対象者の皆さん、来年もお元気で出席されますよう、健やかにお過ごしください。



魚島地区 9月10日(火)



高井神地区 9月12日(木)



弓削地区 9月13日(金)



岩城地区 9月28日(土)

朗読で弓削中生が最優秀賞に NHK杯全国中学校放送コンテスト愛媛大会

このほど、NHK杯全国中学校放送コンテスト愛媛大会で弓削中学校3年の竹林環さんが朗読部門で最優秀賞に輝きました。

このコンテストは、愛媛県放送教育研究協議会、愛媛県教育研究協議会、NHKの主催により、美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高めること、番組制作をとおして、校内放送活動の充実・発



9/26 (木) 児童・生徒が安全をよびかけ 秋の全国交通安全運動in魚島

魚島総合支所前にて交通安全茶屋が行われ、伯方地区交通安全協会魚島支部の役員・伯方警察署員・魚島小中学校児童生徒および教職員など、多くの参加者が地域住民に交通安全のグッズやチラシを配布するなど、交通安全を呼びかけました。

小中学校の児童生徒らは授業で作成した、しおりを配りながら、「交通安全をお願いします」などとドライバーや歩行者に対して元気に呼びかけを行っていました。

この運動は「命を守り 笑顔を守る。すべてはこの

展示を図ることなどをねらいとして行われているものです。

コンテストはアナウンス、朗読、ラジオ番組、テレビ番組の4部門で実施され、竹林さんが応募した「朗読部門」は、指定図書のうち1編を選び、自分の表現したい部分を2分以内で朗読、録音したものにより審査が行われました。竹林環さんが選んだ指定図書は、宮下奈都著『よろこびの歌』。表現の仕方やテンポ、発音、発声、アクセント、イントネーションなどさまざまな視点により審査が行われました。残念ながら全国大会での入賞とはなりませんでしたが、この貴重な経験を今後に活かしてほしいものです。

島の未来のために。」を合言葉に、魚島の交通安全を祈願し、交通安全に対する注意喚起・交通ルールの更なる意識向上を目的に実施したものです。

秋の全国交通安全運動期間は終了しましたが、引き続き、安全運転に努めましょう。



対象者の皆さん、来年もお元気で出席されますよう、健やかにお過ごしください。

9/6 9/7 コスモスを植栽しました(生名・ 岩城地区) 上島四島花の島構想

9月6日（金）生名網建緑地帯において、各種団体の方々によるコスモスの植栽が行われ、生名ふ頭用地においては、生名婦人会によるサルスベリの植樹が行われました。また、9月7日（土）には、岩城西部地区において、地区住民の方々によるコスモスの植栽が行われました。

たくさんの方々にご協力いただき、周辺の木々の剪定作業から清掃などきれいに整備されました。コスモスは11月ごろ、サルスベリは、来夏にそれぞれ見ごろを迎える予定です。



生名地区網建緑地帯



生名ふ頭用地



岩城西部地区緑地帯

9/23 (月) 弓削島から世界へ いざ出航

弓削商船高等専門学校

弓削商船高等専門学校において、商船学科卒業式および専攻科修了式が行われました。

同校では明治34年設置海員学校時代から多くの船員を送り出し、今年は商船学科卒業生34名および専



攻科海上輸送システム工学専攻2名が、弓削島から人生という大海原へ巣立っていきました。今後のご活躍を祈念いたします。



9/25 (水) 防災意識の高まりを期待 岩城小・中学校で防災学習会

岩城地区で小中学校の児童生徒および保護者や地域の方も参加し、防災学習会が開催されました。

この学習会では、愛媛県砂防ボランティア協会の方が講師を務め、自然災害の恐ろしさや、防災対策の大切さについて、体験と講話を通じて学びました。体験学習では、四国に一台しかない土石流3D体感シアター、起震車を用いた地震体験、日本最大雨量を体感できる降



災害のメカニズムの講話学習



降雨体験車で豪雨体験



起震車で地震体験

雨体験車が用意され、自然災害の脅威について身をもって学びました。講話学習では、模型を用いて、地滑りや土石流等のメカニズムを学び、また、岩城島のハザードマップを見ながら身近な災害危険個所についての再確認を行いました。

平成30年度西日本豪雨のようにいつ起こるか予測できない自然災害およびその被害について学ぶ機会を得て、参加した児童生徒の防災意識がより一層高まることが期待されます。